

当センターで経験したGIST症例

株式会社 秋田病理組織細胞診研究センター

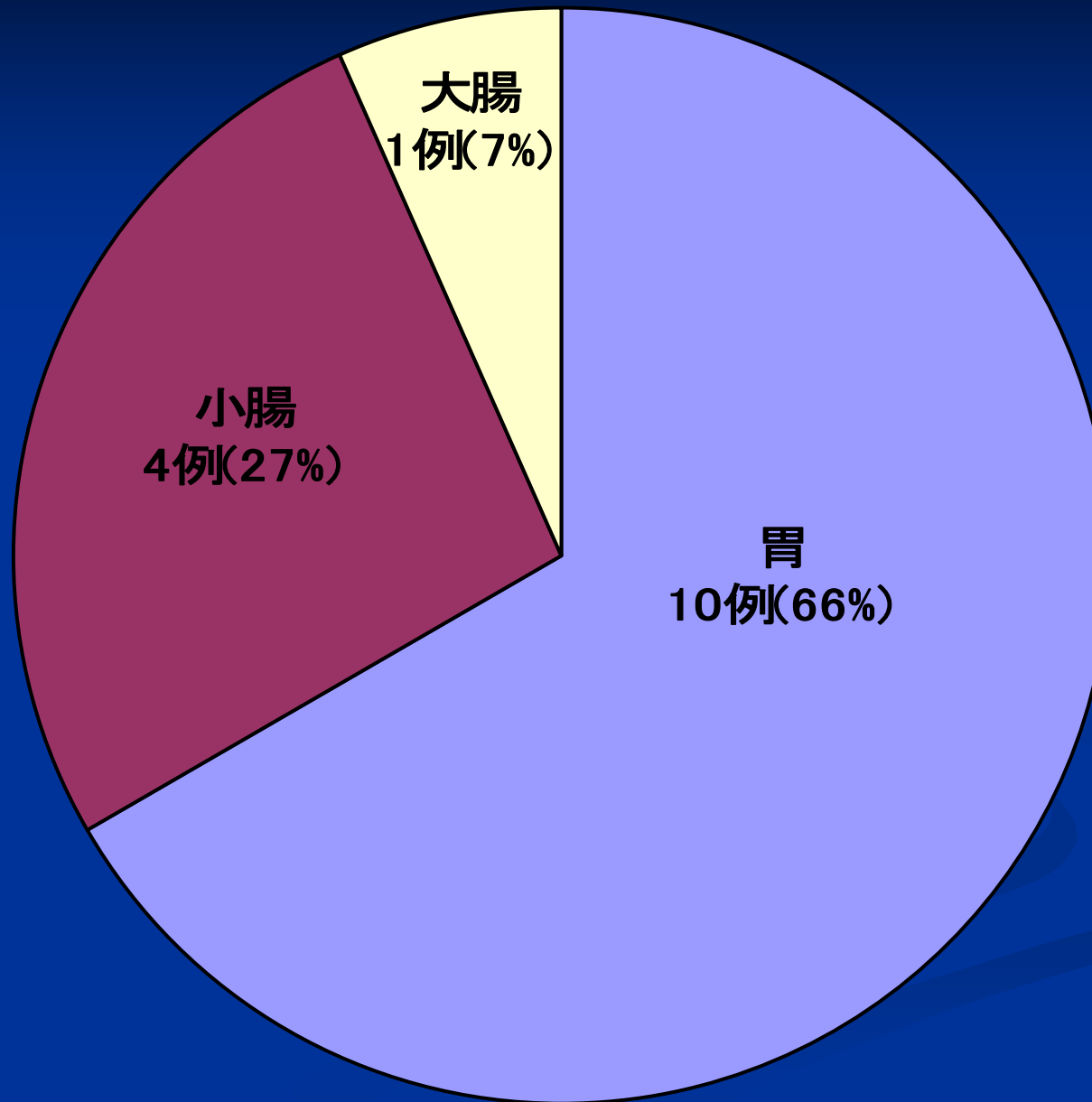
○佐藤 伸 阿部 一之助

金子 翔 南條 博

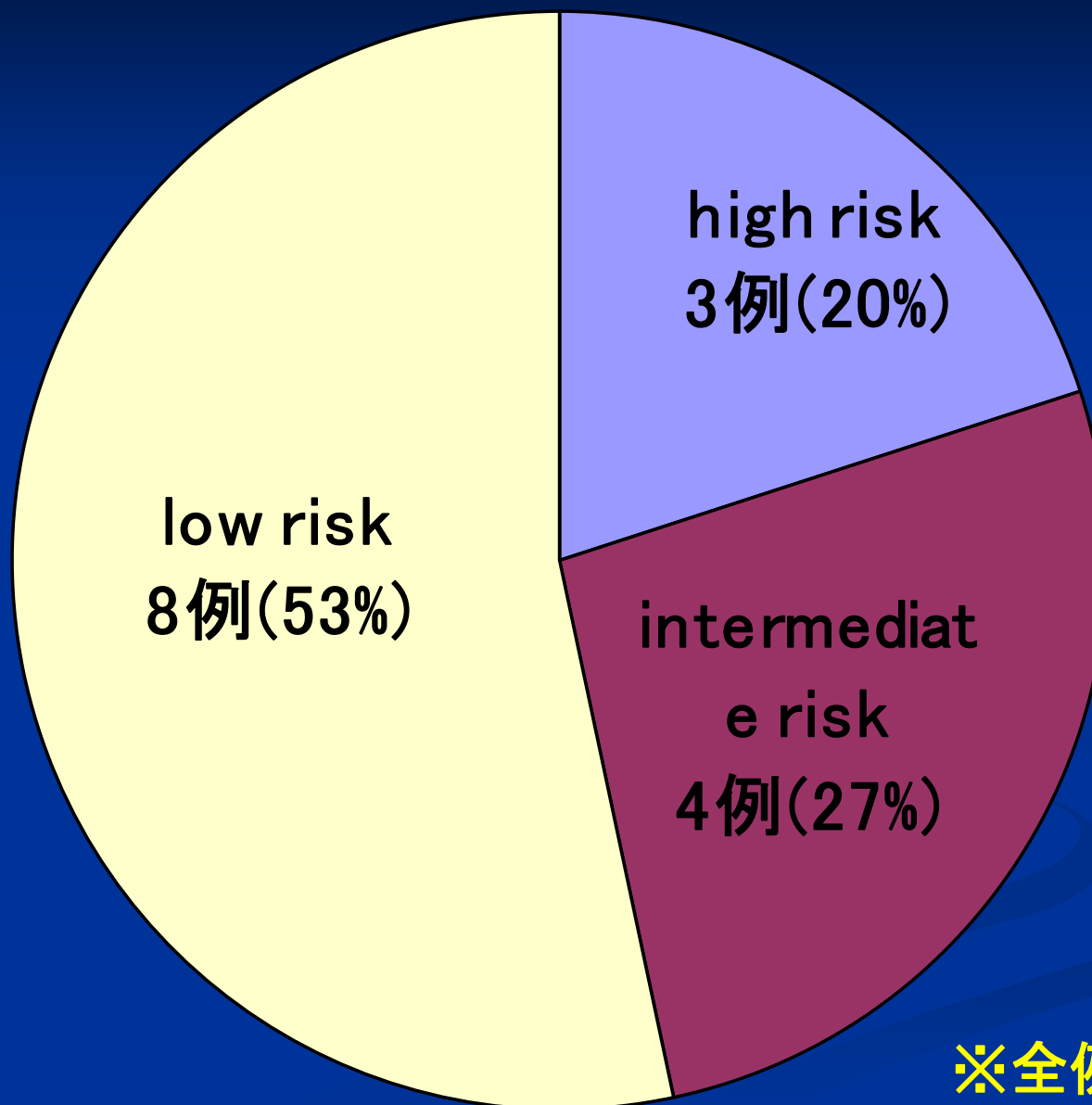
対象と方法

2003年～2009年までの7年間に当センターに提出された、GIST切除15症例を対象とし、その臓器別内訳、悪性度別内訳、また核分裂像数、壊死の有無、Mib-1 indexについてデータをまとめた。

手術材料15例の臓器別内訳



手術材料15例の悪性度別内訳

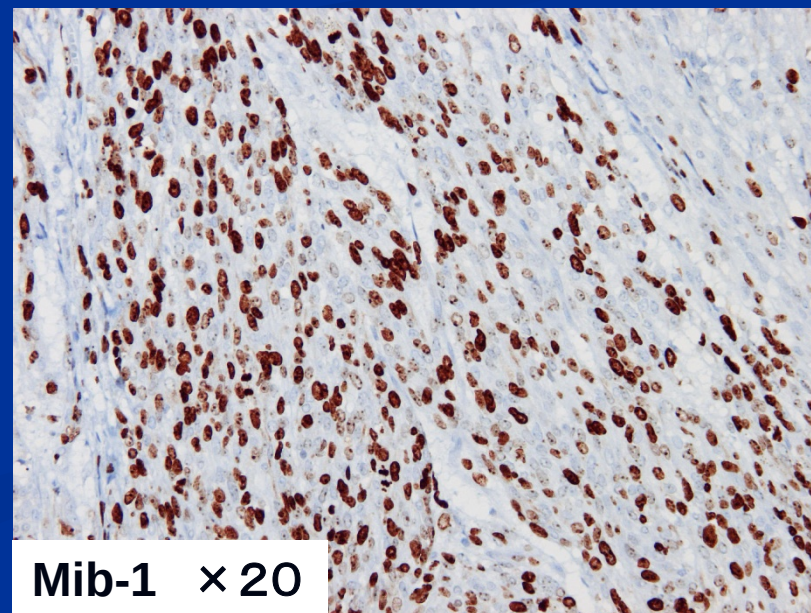
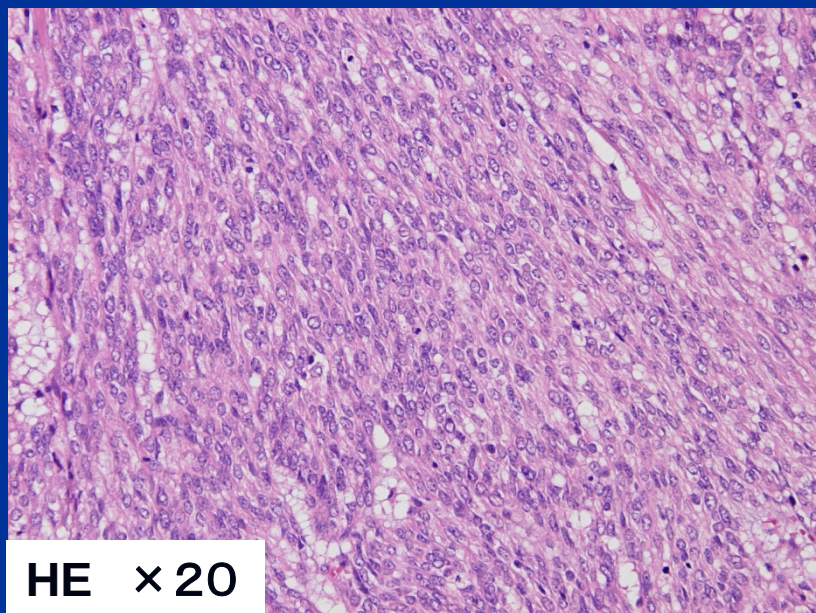
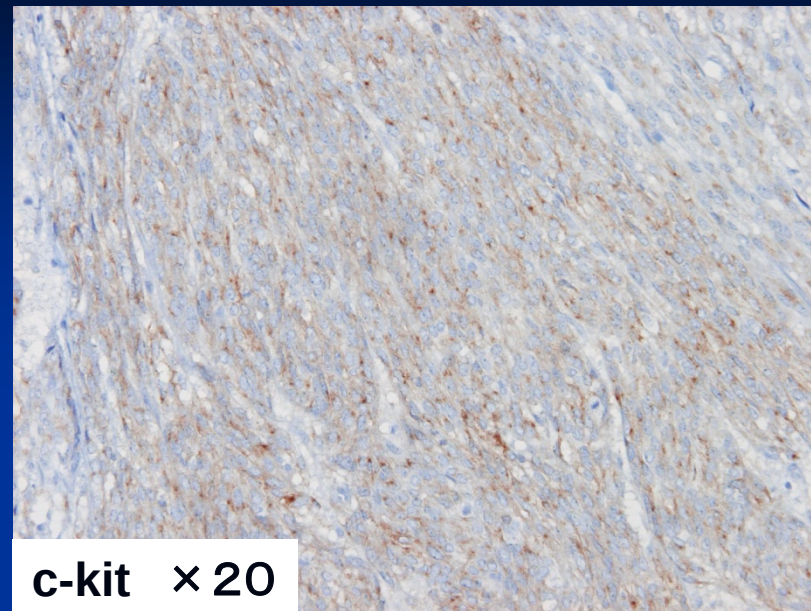
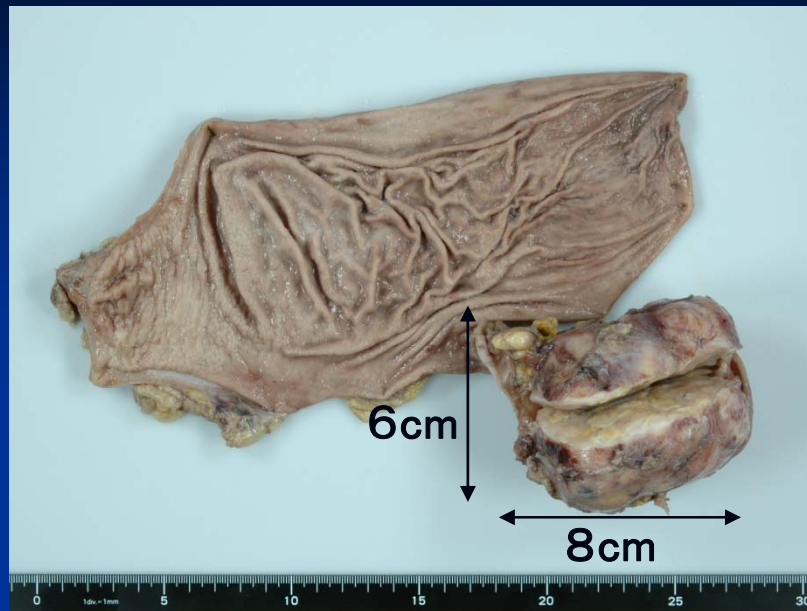


※全例c-kit陽性

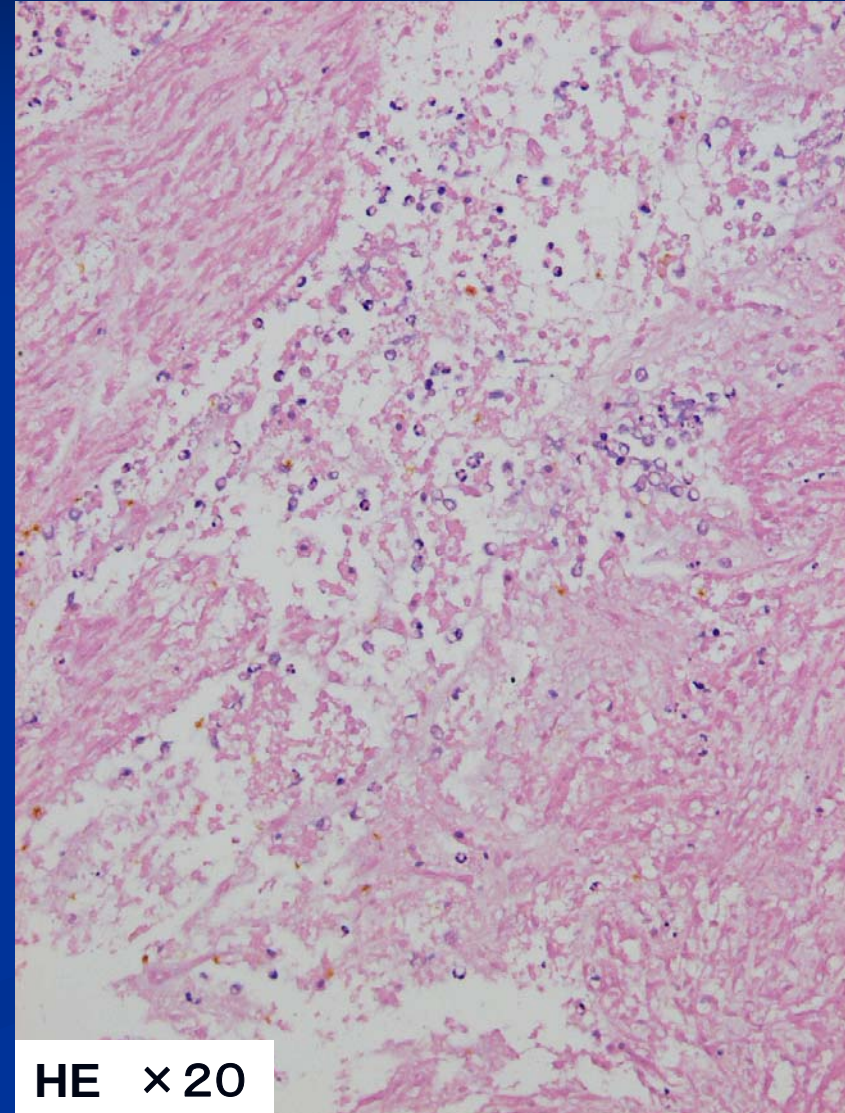
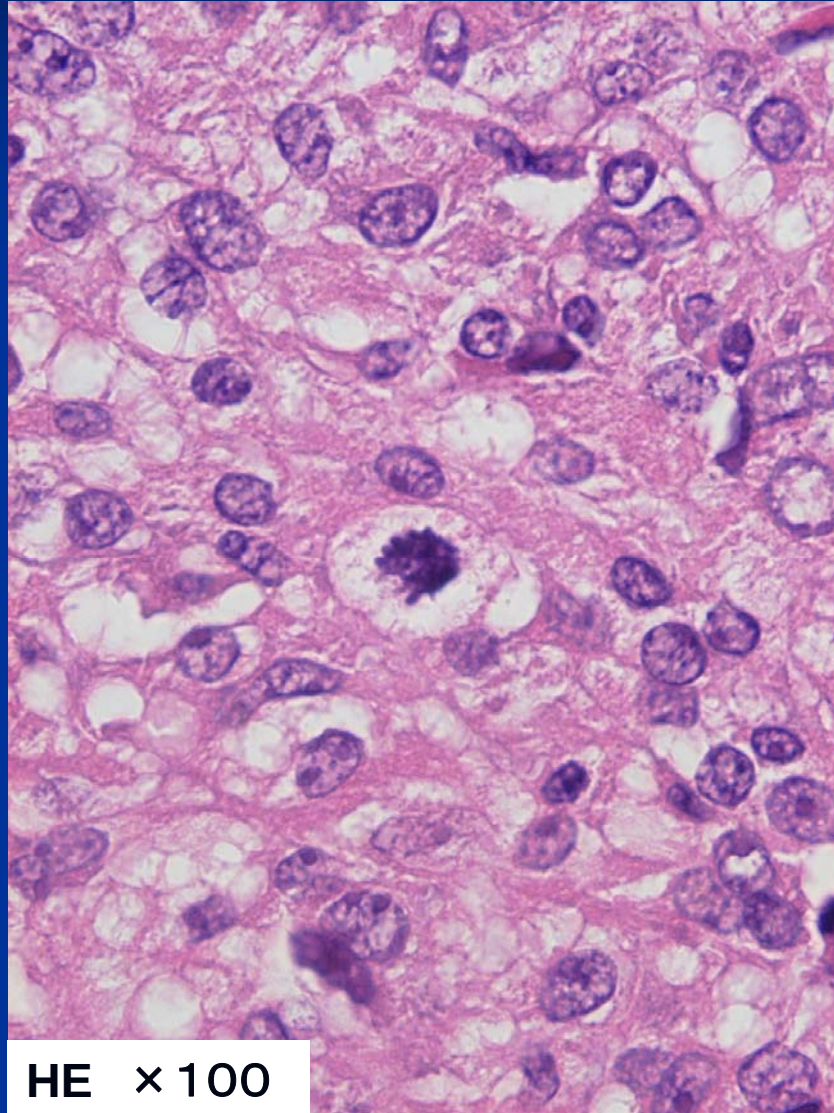
High risk症例(3例)

	臓器	腫瘍径	核分裂 /50HPF	壊死	Mib-1
症例1	胃	8cm	18個	あり	50%
症例2	小腸	5cm	10個	あり	30%
症例3	胃	7cm	6個	あり	11%
平均		6.6cm	11個		30%

High risk症例(症例1)



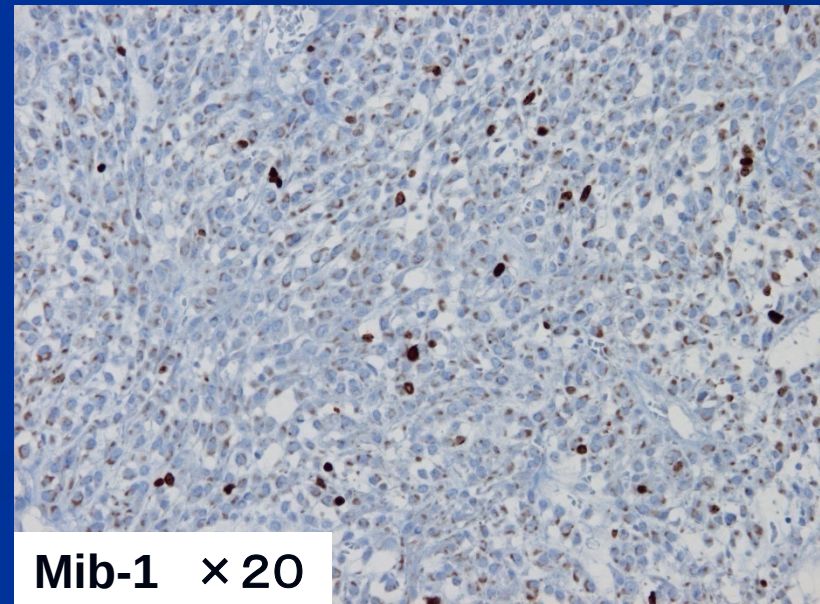
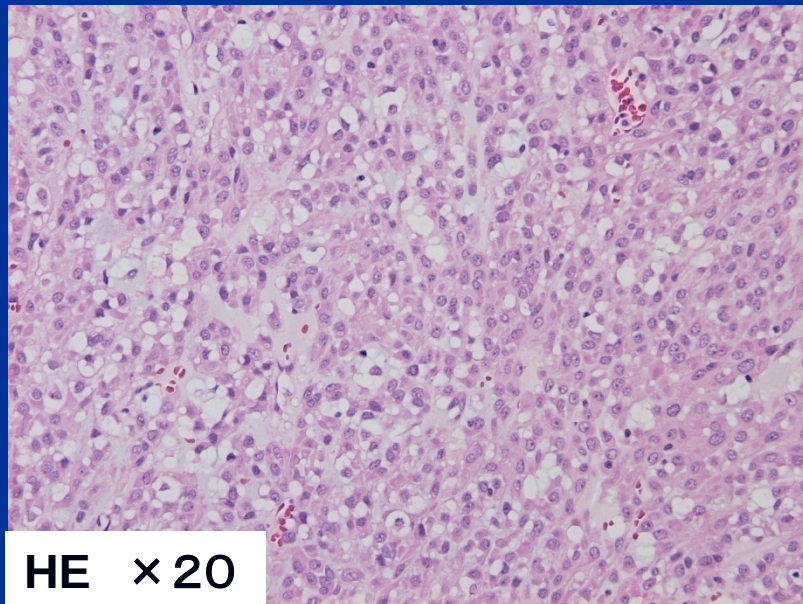
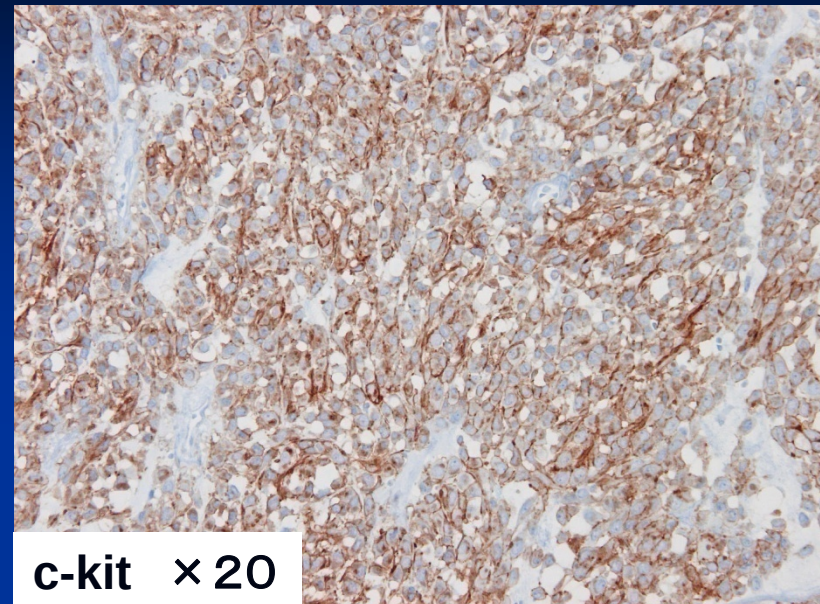
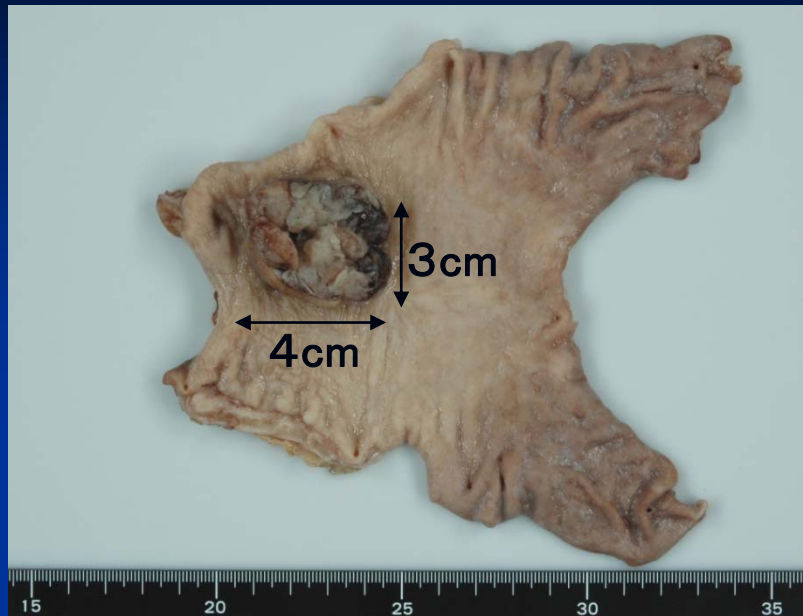
核分裂像と壊死像



Intermediate risk症例(4例)

	臓器	腫瘍径	核分裂 /50HPF	壊死	Mib-1
症例4	胃	2cm	2個	なし	5%
症例5	大腸	7cm	3個	なし	5%
症例6	胃	4cm	5個	あり	8%
症例7	胃	5cm	1個	なし	5%
平均		4.5cm	3個		6%

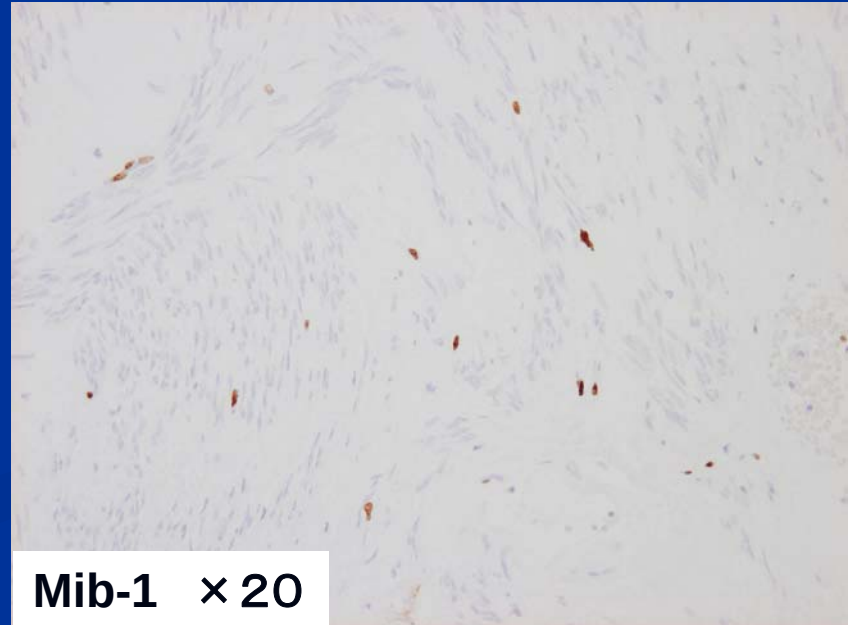
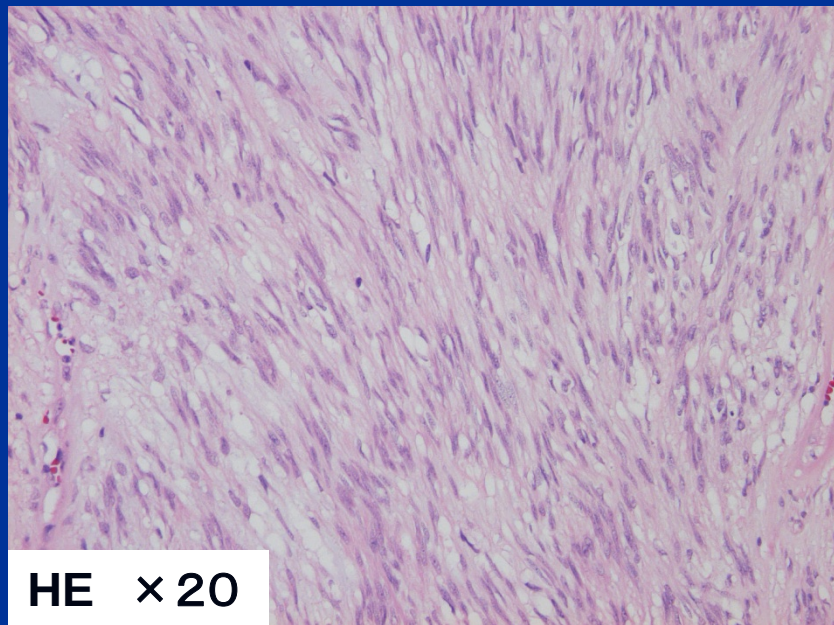
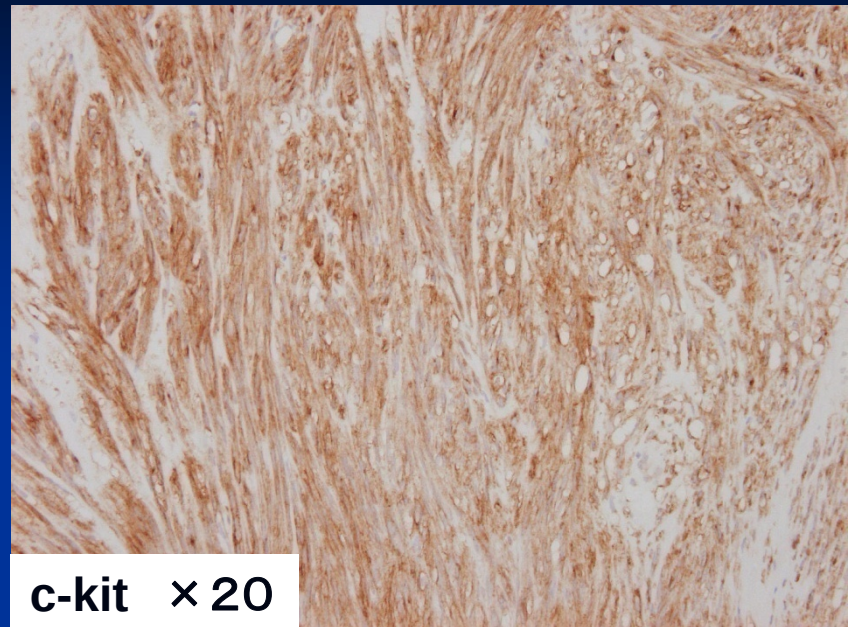
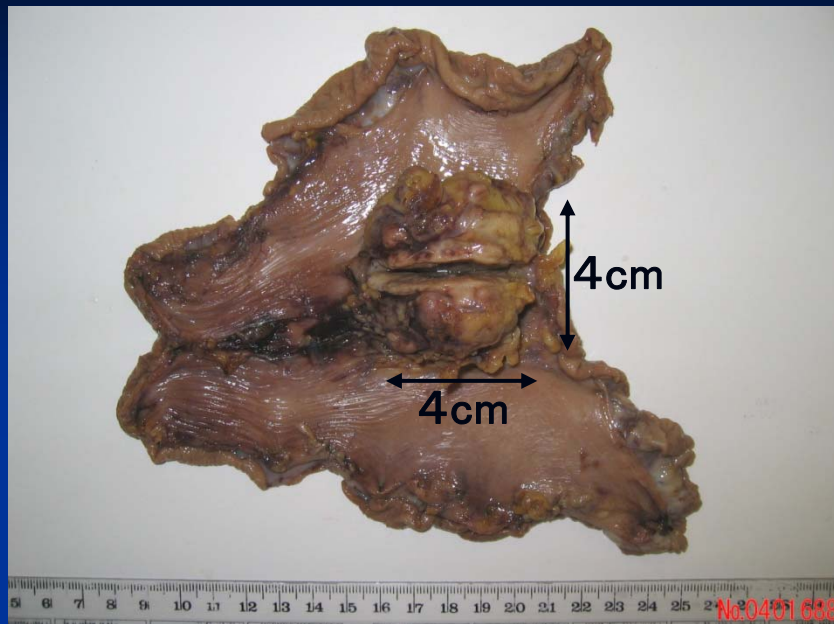
Intermediate risk症例(症例6)



Low risk症例(8例)

	臓器	腫瘍径	核分裂 /50HPF	壊死	Mib-1
症例8	小腸	2cm	2個	なし	2%
症例9	胃	4cm	5個	なし	4%
症例10	胃	2cm	2個	なし	1%
症例11	胃	4cm	4個	なし	4%
症例12	小腸	4.5cm	1個	なし	1%
症例13	小腸	3cm	2個	なし	2%
症例14	胃	0.5cm	5個	なし	3%
症例15	胃	2.5cm	3個	なし	1%
平均		2.8cm	3個		2.3%

Low risk症例(症例9)



まとめ

- 臓器別内訳は手術材料15例中、胃が10例(66%)、小腸が4例(27%)、大腸が1例(7%)であった。
- 悪性度別内訳は手術材料15例中、High riskが3例(20%)、Intermediate riskが4例(27%)、Low riskが8例(53%)であった。
- GISTは悪性度によって再発リスクが大きく異なると言われている。その指標として、腫瘍径、核分裂像数、壊死の有無、Mib-1 indexなどがあるが、今回の当センターの検討においても文献的に報告されている検討と同様の結果を得られた。